

Lesson

## 2 限られた敷地でも諦めないで。

## スペースをすみずみまで活かして

広い敷地でなくても、工夫しだいで心地よいお庭をつくれます。床面を有効に使って広がり感を出す、デザインの効果で奥行きを感じさせる、敷地対応力の高いガーデンルームを採用する。さまざまなアイデアで素敵な庭づくりを!



## 室内の床の延長で出られるデッキで広がり感を

建物に沿って細長く、部屋から見て奥行のない庭。隅に花壇を残して、あとは敷地いっぱいにはデッキを敷きつめました。すみずみまでデッキをのびすことで、限られたスペースを有効活用し、広く感じさせています。デッキと室内の床との段差がないためより広く見え、部屋と庭をスムーズに行き来できます。



(S様邸)

## 斜めラインで奥行きを感じ床に座るので落ち着く

リビング前の小さなテラス+庭が使われていないのでリフォームし、白黒のタイルとデッキを組み合わせた斬新なテラスに。斜めのデザインが実際よりも奥行きを感じさせてくれます。床の段差をベンチ代わりにして腰掛ければ、椅子がいらぬため空間をゆったりと使い、外から見えにくいので落ち着きます。



(S様邸)

## 小さな既存のテラスがゆったりガーデンルームに

庭先の小さなテラスが使いにくいので、その上に「M.フレイジ」を設置。段差のある駐車場が迫る限られたスペースを、ムダなく使ってゆったりと納めました。柱はテラスの中に立てず、前に逃がしたので、その分床スペースを広く取ることが可能に。三世大家族が集い、交流を楽しむ素敵なリビングになりました。



(S様邸)

## Column “デッドスペース”をなくせば、こんなに広く使えます

例えば、よくある勝手口のステップ。小さくて踏みはずしそうになるからと利用されず、通路もほとんど使われていません。そこで上に人工木デッキをかぶせ、フェンスぎわまでのびました。これでキッチンからスリッパのまま出られ、ゴミ出しもラクに。空間をすみずみまで使えるので、ガーデニングや掃除用具置きなどにも使えて重宝しています。デッドスペース(利用できない空間)をなくす工夫で、限られた空間をもっと活用しましょう。

